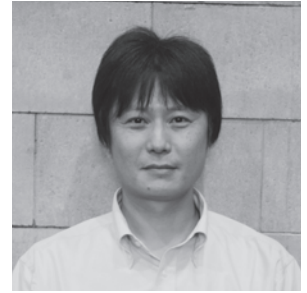


優秀賞

5250画面を使用せずに AS/400 スプールファイルをコントロールする

白井 昌哉 様

太陽セメント工業株式会社
経理部 業務推進室 部長



太陽セメント工業株式会社
<http://www.taiyo-cement.co.jp/>

建築用ブロックや舗装材など、さまざまな用途に使用されるコンクリートブロックの製造を行っている。業界におけるパイオニア企業として、排気ガスを浄化するブロック、緑化ブロック、個性的で美しいブロックなど、常に時代が求めるニーズを読み取りながら製品を開発している。

業務課題

社内の受注出荷業務を Delphi/400 によりシステム化したが、日々発行する出荷伝票を出力する時や用紙の差し替え時に、5250 画面を立ち上げメッセージに応答する作業が社内に浸透しなかった。

毎日夕方になると 10 か所ある拠点から「伝票が出ない」などの電話があり、日々対応に追われていた。

業務担当者からは、Delphi 画面と 5250 画面を並行的に使うことに対する抵抗もあった。

技術課題

Delphi で、5250 画面のコマンド「WRKOUTQ xxxOUTQ」の照会結果のような画面を作成して、印刷ボタンをクリックすると、自拠点の印刷待ち行列を対象として、自動的に AS/400 がメッセージに返信して帳票を印刷する、というシステムを作る計画を立てた。

技術的には、以下が課題となった。

【課題 1】

拠点ごとに OUTQ を作成したが、どの拠点が、どの OUTQ 情報を照会するか。

【課題 2】

WRKOUTQ 照会画面のようにいったん画面が止まり、業務担当者が印刷待ち行列を目視確認し、次のアクションで自動的に印刷をさせるためには、どのような工夫が必要か。

技術課題の解決策

ListSpool400 コンポーネントを利用し、課題を解決した。

【課題 1】

業務担当者のログインユーザー ID に対して OUTQ を紐づけするテーブルを、AS/400 上に作成して、ListSpool400 の OUTQ パラメーターにセットすることで実現可能となった。

【課題 2】

WRKOUTQ のような照会画面は、ListSpool400 を Open し、ListSpool400 の必要項目を DBGrid にフィールドを割り当て、目視確認ができるようにした。

印刷ボタンのクリック時に、ListSpool400 に各行（各待ち行列）を 1 レコードずつ読み込み、Call400 で CL プログラムを起動し、パラメーターを送り CL プログラム内のコマンド CHGSPLFA にパラメーターをセットすることにより、印刷装置への転送が可能となった。

スプールのメッセージは、あらかじめ AS/400 で、コマンド WRKRPYLE でメッセージ自動応答を組み込んでおく必要がある。【図 1】【ソース 1】【ソース 2】

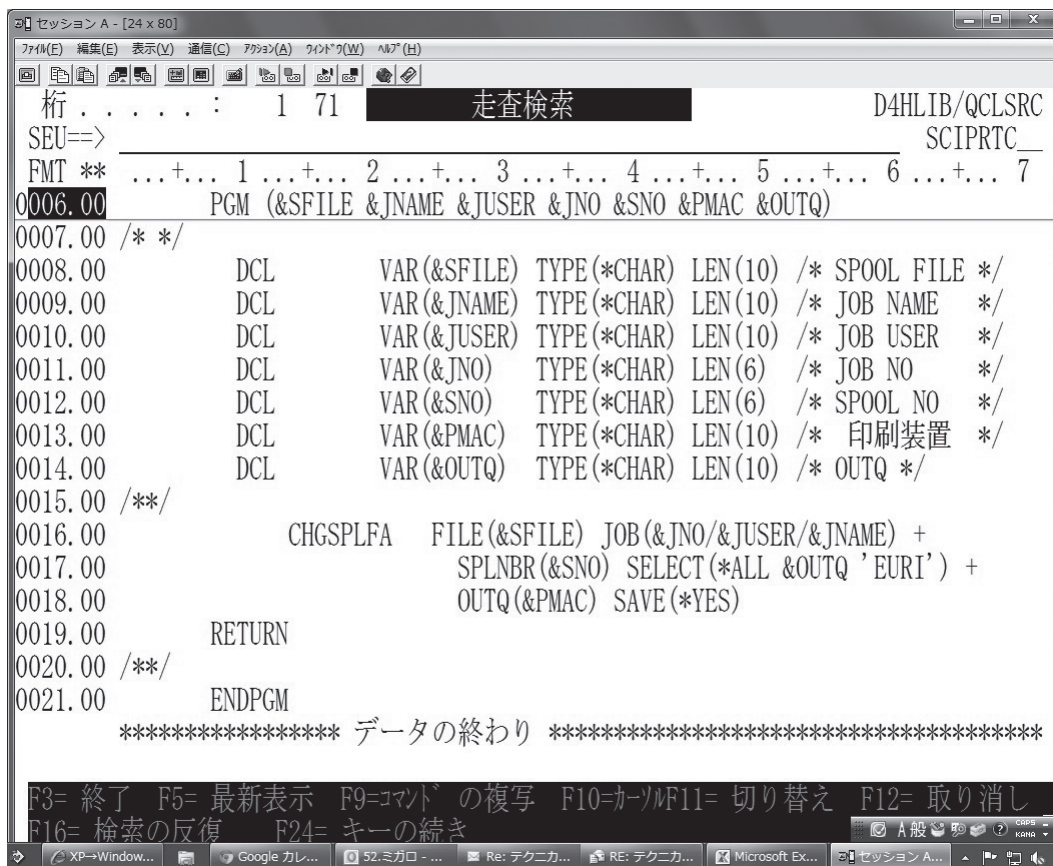
業務課題の解決と効果

まず、各拠点の業務担当者から日々の電話がなくなった。業務担当者は、プリンターに対し用紙の差し替えのみ行うという単純作業で帳票が印刷できる。

図1 売上傳票印刷状況画面



ソース1 CLプログラム



この効果がシステム利用全体に影響し、「コンピュータはわからない」という担当者レベルの思い込みを払拭でき、業務担当者からシステムに対する新たな提案がされるようになった。

結果、システム全体が徐々にバージョンアップしてきていることは、システム管理者からしてみれば、大きな喜びであり、今後の開発にも力を注ぐことができる。

Delphi/400でのシステム開発を通じ、今まで5250画面ではできなかったことができるようになった点も多数あり、Delphi/400を選択してよかったと思っている。

M

ソース2 Delphiソース

```
//画面表示
procedure TfrmSpoolList.acDisplayExecute(Sender: TObject);
begin
  inherited;
  with qrySCMCOD do
  begin
    Close;
    ParamByName('SCDSCC').AsString := dmMain.LoginInfo.SCCODE;
    Open;
    if not(Eof and Bof) then
    begin
      ListSpool4001.OutQName:=Trim(qrySCMCOD.FieldByName('SCDCVL').AsString);
      ListSpool4001.LibraryName:=Trim(qrySCMCOD.FieldByName('SCDCR1').AsString);
      PRTName := Trim(qrySCMCOD.FieldByName('SCDCR2').AsString);
    end;
  end;
  //SPOOL-LIST
  odsSpoolList.Open;
end;
//伝票発行
procedure TfrmSpoolList.acDenPrintExecute(Sender: TObject);
var
  p_sFile,p_jNAME,p_jUSER,p_jNO,p_sNO,p_MAC,p_OUTQ:String;
  p_sNOW:integer;
  PrtFrm: TForm;
  PrtFont: TFont;
begin
  inherited;
  //指定用Font設定
  PrtFont := TFont.Create;
  PrtFont.Color := clRed;
  PrtFont.Size := 15;
  PrtFont.Style := [b,italic];
  //用紙替のメッセージ
  messageBeep(MB_ICONEXCLAMATION); //警告音
  //作成回数によるメッセージ表示
  PrtFrm := CreateFontMessageDialog('! プリンターの用紙を[売上伝票]に取り替えてください。', mtInformation, [mbOK, mbCancel], PrtFont);
  if PrtFrm.ShowModal = mrOK then
  begin
    if odsSpoolList.RecordCount > 0 then
    begin
      with odsSpoolList do
      begin
        Open;
        First;
        while not(Eof) do
        begin
          //フィールドセット
          p_sFile:=Trim(odsSpoolListName.AsString);
          p_jNAME:=Trim(odsSpoolListJobName.AsString);
          p_jUSER:=Trim(odsSpoolListUserName.AsString);
          p_jNO :=copy(odsSpoolListJobNumber.AsString,1,6);
          p_sNO :=copy(odsSpoolListSpoolFileNumber.AsString,1,6);
          p_snow :=StrToInt(p_sNO);
          p_sNO :=IntToStr(p_sNOW);
          p_MAC :=Trim(PRTName);
          p_OUTQ :=Trim(odsSpoolListOutqName.AsString);
          //保存CLの呼び出し
          with call4SCIPRTC do
          begin
            Value[0] := p_sFile;
            Value[1] := p_jNAME;
            Value[2] := p_jUSER;
            Value[3] := p_jNO;
            Value[4] := p_sNO;
            Value[5] := p_MAC;
            Value[6] := p_OUTQ;
            Execute;
          end;
          //次のレコード
          Next;
        end;
        First;
      end;
    end;
  end;
end;
```